

令和5年度「公園内における受動喫煙に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

ヨコハマ e アンケートと同時期に子育て世代を対象としたアンケートや公園愛護会を対象としたアンケートを実施し、令和5年10月14日から11月19日にかけて市内5公園で公園内禁煙の試行及びアンケート調査も実施しました。受動喫煙から子どもたちを守るためにも、子どもが多く利用する公園での対策は大変重要と考えています。各アンケート調査においても、受動喫煙対策を要望する意見を多くいただき、関心の高さも実感しています。アンケート結果も踏まえながら、実効性のある公園での受動喫煙対策を検討していきます。

2 アンケートを実施した感想

Q1の「公園を利用している際に喫煙で迷惑と感じたことがあるか」の問いに対して、「ア よくある」、「イ たまにある」を選択した方の合計が58.8%と半数以上が公園での喫煙を迷惑と感じたことがあることが分かりました。

また、Q2の「公園内での喫煙について、どのようなことが迷惑と感じたか」の問いに対して、「ア たばこの煙やにおい」と「エ 吸い殻のポイ捨て」を選択した方が80%を超えており、「受動喫煙による健康影響」を選択した方の52.7%よりも高いことから、たばこの煙やにおい、ポイ捨ての方が迷惑と感じているということが分かりました。

自由意見では「公園は全面禁煙でよい」「喫煙所を設置してほしい」などといった公園内における喫煙や受動喫煙についての多くの意見をいただきました。今後の受動喫煙対策を進めるうえで大変参考となりました。

3 担当部署の e アンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

公園での受動喫煙に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。

多くの子どもたちが遊び、幅広い世代の方が集い、憩う公園での受動喫煙対策について今後も進めていきます。

担当：環境創造局公園緑地管理課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。